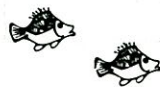


# 銀座水族館(七つの海の魚および水産切手)



—37—

三崎出張所 神原 勇

## タイマイ

分類 カメ目 ウミガメ科(爬虫類)  
学名 *Eretmochelys imbricata*  
英名 *Hawksbill turtle*  
和名 ベッコウ

タイマイというよりはベッコウとしての呼び名の方がより一般的で、この甲羅は古今東西を問わず装飾品や美術品はいうまでもなく高価なる実用品としての貴重なる材料として珍重されてきた。

タイマイは甲長60~90cm位のウミガメとしてはあまり大きくない方で、普通甲長60cm、体重50kg位のものが多い。甲羅の縁から二列目には左右各々4枚ずつの肋甲板(ロッコウバン)があること。甲羅は褐色で1つ1つの甲板には黄色の美しいすじ模様があり、この甲板が若いときは屋根瓦状に重なりあっているが、老成すると他のウミガメと同様に次第に分離していき縁を接しながら敷石状に並ぶようになる。そして甲板の後端部がとがっていること。口吻が下方に彎曲して突出していること。等が本属の大きな特徴となっている。英名の「*Hawksbill turtle*」は「鷹のようなクチバシをもったカメ」の意で特色を良く表現している。

タイマイの食餌は動物性でやや雑食性的なところがあリ魚類、軟体動物、甲殻類・海藻等で毒性の強いカツオノエボシを目をつぶって捕食するといわれる。カツオノエボシの刺胞はゴム手袋やカニの甲殻でさえも刺し通すので、タイマイが目をつぶった位の防御手段ではとても防ぎきれそうにもなく、たとえ外皮を通さないにしても口から消化管に至るやわらかい細胞膜には全く抵抗がないものと考えられるので、カツオノエボシの毒性に対して免疫があるのではないだろうか。

アオウミガメは熱帯海域に分布するのに比べ、タイマイは分布域が広く熱帯から温帯海域にかけて分布する。繁殖期は一定の時期はないが盛んに行われるのは印度洋で9~11月、カリブ海では5~6月でいずれも両半球の

初夏にあたる頃である。産卵期が近づくと雌は沖合から満潮にのって岩にかこまれたような砂浜に接岸し、上陸するやノコノコと直進し海岸よりやや離れた、高潮時にも波に洗われない産卵に適したところに陣をかまえる。まず体の両脇に砂をかきあげ体がすっぽり入る位の深さ15cm位の凹みを作り、後のヒレ足をつかい深さ30cm位の穴を掘る。この穴は卵を産みつける巣となる。産卵が始まると少々の衝撃にも驚くことなく続行する。産卵の時間は10~30分位で終了するが一度にピンポン球大のものを3~4ヶつつ産み、産むたびにウメキ声をあげる。1回の産卵で約120~130ヶの卵が産みおとされる。産卵が終わると凹みを砂で埋めるが掘るときと逆の過程をたどり最後には砂を周りからかきあつめ良く地ならしをして卵が見つからないようにする。ウミガメ類は産卵のため上陸したとき、又船上で捕獲されたとき等一般に眼に涙が多くさん見られるが、これは空気中で眼の乾燥を防ぎ表面を液体でおおい良く見えるためであるとの説と、体内の余分の塩分を人間の場合腎臓から尿として排出されるが、ウミガメの場合腎臓ではおいつかず眼球の後にある分泌腺で塩分を濃縮させ涙として体外に排出させ、滲透圧を調節する作用があるとの説があり、各説とも相互に関連しているものと思われる。

産卵された仔ガメは地熱により8~10週間で孵化し、大きさは4cm位の大きさで自力で明るい方即海に向かって歩行を開始する。海に入ってす暫くの間は潜ることも出来ず浮上したままであるので鳥、魚類、カニ等に襲われる危険は大きい。汚染その他で資源の減少が目立ち各国とも保護政策をとっている。

## タイマイ

分類 : カメ目 ウミガメ科(爬虫類)  
学名 : *Eretmochelys imbricata*  
英名 : *Hawksbill turtle*  
和名 : ベッコウ

太平洋、印度洋及アフリカ西海岸を除く大西洋、熱帯、亜熱帯海域に分布し日本へは黒潮・寒流の北限付近にマダラ現れる事がある。最大甲長60cm、体重50kg位で甲羅は褐色で1つ1つの甲板は黄色の美しいすじ模様があり、この甲板が若いときは屋根瓦状に重なりあっているが、老成すると他のウミガメと同様に次第に分離していき縁を接しながら敷石状に並ぶようになる。そして甲板の後端部がとがっていること。口吻が下方に彎曲して突出していること。等が本属の大きな特徴となっている。英名の「*Hawksbill turtle*」は「鷹のようなクチバシをもったカメ」の意で特色を良く表現している。



バハマ -1971



カイマン諸島 -1971



カイマン諸島 -1975



環礁 -1966



アセンション -1973



北ベトナム -1965